

ロゴマーク デザイン学部メディアデザインコース4年 木村 尚史

特集「時代の潮流を読む」

先端メディアの潮流から
札幌市立大学附属図書館長 武邑 光裕

米国の看護職最前線
札幌市立大学看護学部 スーディ 神崎 和代

ドイツの森・日本の森～現代社会における環境デザイン
札幌市立大学デザイン学部 上田 裕文

多様化するがん治療～がん看護事情
札幌市立大学看護学部 小坂 美智代

あなたと私～今を生きるコミュニケーションのヒント
札幌市立大学デザイン学部 町田 佳世子

アニマル・セラピー Now & then
札幌市立大学看護学部 河村 奈美子

現代建築デザイン事情のおかれている社会的事情
札幌市立大学デザイン学部 那須 聖

Living Library in Sapporo —新たなコミュニケーションの可能性—

札幌市立大学デザイン学部 三谷 篤史

カウンターの内側から・外側から

附属図書館貸出・視聴ランキング

図書館情報

札幌市立大学
附属図書館

SAPPORO CITY UNIVERSITY



<http://www.lib.scu.ac.jp/>

記憶の解放—図書館は いかにして生まれたか

直立歩行を獲得してからの人間の進化を、形質人類学という研究から解き明かしたのは、フランスの先史学者アンドレ・ルロワ＝グーランだった。人間は直立位によって獲得した「手」の自立から、それを仕事へと導き、巨大歯列による顔は縮小し、背骨と体に支えられた頭部（脳）に発達要因が生まれた。解放された手は「身ぶり」を表現し、食物の咀嚼から解放された口は、やがて身ぶりを伴う意味をもった発声、すなわち「言葉」の形成に専心することになる。

人間は、多くの四足動物と異なる進化を遂げたことで、身体の力学的解放を促し、発達した脳からは、「記憶の解放」が意図された。記憶を自らの脳に留めるだけでなく、頭骨の外骨へと延長し、脳から集落を、そして大都市や図書館、美術館を、そして現代のインターネットを組織化するに至る壮大な「解放」の営みが形成されていく。

人間それ自身は、自らの記憶を次の世代に継承できない。遺伝子は個体の記憶までを受け継がないからだ。過去の哲学や科学、芸術の壮大な営みが、歴史を超えて共に体験可能なのは、すべてメディアの役割に起因している。メディアとは、人間の進化過程で生み出された「記憶の解放」を意味している。ルロワ＝グーランはこうしたメディアの発生を、記憶の外在化現象と呼んだ。伝えられるのは歴史上の事実の記憶だけではなく、解決すべき問題、繰り返される疑問、思想もまた、遺産として伝えられ、文化を創造する。上記の観点からしても、図書館とは、記憶の解放によってもたらされた人間の聖域なのである。

私たちの周囲では今も、メディアは新たな領域へと進化している。その主な潮流が、ソーシャルメディアと呼ばれる市民主体の情報流通基盤の成熟である。ブログやSNS（ソーシャルネットワーク

サービス）、YouTubeやフェイスブック、ツイッターなどが私たちの周囲に多彩な情報交通の網を形成する。これは従来の基幹メディアが担ってきた情報の独占的な伝達や制度的な流通基盤ではなく、個々を繋ぎ、リアルタイムで膨大な情報コミュニケーションの相互作用が瞬間に拡張することを意味している。

今この瞬間に想起されるアイデアに、世界中の人々が、リアルタイムに相互作用し、個々の記憶は、瞬時に世界中の人々との共有を実現する。これが図書館という記憶のメディアを超えて、瞬時に知識がイノベーションを果たす先端メディアの可能性でもある。20世紀を覆ったマスメディアのすべては、巨大な地殻変動の渦の中にある。それらは、新たな市民社会が必要とするメディアへの転換を迫られている。これは21世紀が要請するメディアの革命的な景観なのだ。

ただ、どんなにインターネットが進化を遂げたとしても、図書館というメディアは、これからも私たちにとって特別な場所である。なぜならそこは、知識経験の媒介として至福な場所だからである。2008年、『乳と卵』で芥川賞を受賞した川上未映子さんは、朝日新聞に受賞直後の思いを込め、図書館とそこに存在する無数の物語について次のような印象的な一文を寄せた。

「---図書館。本棚を何気に見上げれば、本しかないことに驚いた。わあ。ここには、本しかない。---略---そうするともう、背表紙がなんだかお墓のように見えてきて大変だ。物語は残っていても、人は誰も残っていない。そしてまた、人に読まれて継がれていくのも、物語以外にはありえない。---略---作家は文字通り使い捨て、まさに物語のためにあり、われわれ読者が発見するのは結局いつも、物語そのものなのである。---略---いい物語がやってきたらそれを最高の形にして届けることができるよう、読者

札幌市立大学附属図書館長

武邑 光裕

筆者紹介
メディアデザインコース・教授。メディア美学、メディア環境学、デジタルアーカイブ情報学、情報文化学、創造産業論、コンテンツ創造科学
著書：「記憶のゆくたてーデジタル・アーカイブの文化経済」東京大学出版会 2003ほか

の心になんとか一石投じる物語の為のよき使い捨てになれるよう、心身ともに鍛えぬいてやっていこうと、決心も新たに身のぐんぐん引きしめる思い。」

物語、研究論文、芸術作品であれ、私たちは知識の凝縮を書物や芸術という形式の中で表現し、それを未来への遺産とする。どんなに地球規模の記憶の解放が進化を遂げたとしても、一冊の書物が表現する何かは、それが紙という実体に印字され、心地よい装丁によって包まれて、全国の、そして世界の図書館に留め置かれるとするなら、私たちは知識の至福な永続性に触れ、自分のこの世での証を一部全うしたと言えるのではないか。

一冊でもいい、自らの書物を図書館に残すこと。人生の証として、書物や芸術を表現すること。それは、どんなに最先端のメディア形式やコミュニケーションが進化したとしても、依然、若者がめざすべき大きな挑戦なのである。



オーストリア国立図書館
ウィーンの王宮敷地内にある、世界で最も美しいと言われる図書館です。壁面に設えられた本棚は床から梁までぎっしりと書物で埋め尽くされています。崇高なバロック建築空間をみれば、ここが書物の神殿として構築された場所であることが感じられます。現在の内装は約300年の歴史を持ちます。



オーストリア国立図書館
天井近くまでぎっしりと書物で埋め尽くされた空間。天井のフレスコは Daniel Granによるもので、ハプスブルク家の美徳と国家の豊かさのイメージが空間を覆っています。

推薦書：アンドレ・ルロワ＝グーラン著『身ぶりと言葉』（荒木亨訳）新潮社、1973年

「看護は最古の技であり、最新の専門職である」という表現をしたのはドナヒューであるが、看護は歴史の流れの中で小さな維新を繰り返し、時には大きな揺すぶりを経験しながら技中心の世界から論拠に基づいた専門職へと成長してきた。礎には技から学問としての看護学への変遷を支えた実践者や研究者の労苦があった。また、看護はその国の文化や社会情勢を大きく反映する職業でもある。米国という国は振り返る過去の歴史が短い分、日本に比べると先をみて前に向かって歩くという姿勢が多くてみられる。看護の分野でも然りでどの国よりも早く免許更新を義務付け、それに伴う継続教育システムを構築開発し、研究分野でも多くの投資を惜しまなかった。国を自らの手で築いてきたこの国には社会のニーズに伴い新たな分野や仕組みを組み立てる事を厭わず敏捷に動き始める姿勢がある。看護分野に於いても必要と判断したら新たな専門職の教育や認定の仕組み構築に向けて研究活動を連邦・州政府が全面的に支援してきた歴史がある。この開拓精神は北海道にも共通するものがあるのかも知れない。

米国での看護師の専門選択の裾野は広く、日本でもようやく定着し始めた専門看護師（CNS）や感染管理専門看護師（CIC）に加えて麻酔専門看護師、情報科学看護師、看護専門弁護士、法的コンサルタント（看護専門）、Nurse Practitioner（NP）、医療の質の専門看護師（CPHQ）、ライフケアプラナー看護師、フォレンジック看護師などがある。日本では80%以上の看護師は病院という伝統的な環境で働いているが、米国では

病院勤務は約60%であり、地域に根ざした在宅などでホスピス看護を専門としたり、病院と地域を繋ぎ継続ケアを促進するケースマネージャーとして活動したり、また、国内外へのトラベル看護師としてなど認定の種類以外にも職場の選択肢も多岐にわたる。

ここでは日本では馴染みのないライフケアプランナーとフォレンジック看護師という専門職を紹介しよう。

認定ライフケアプラナー看護師（以下LCPと略）は主に負傷や慢性疾患により長期のケアが必要な患者の総合的なデータを収集・分析し、今後のケア計画を機能的な文書とし、アドバイスを提供する。この文書には詳細且つ必要・適切な今後のケア計画が示されており必要物品の型、サービスの種類、使用頻度、経費などの情報も詳細に記述される。必要に応じてこれらの文書は変更・修正されるが他の医療・看護・福祉専門家と連携をとり、ひとりの患者の長期ケアを受けながらの暮らしを支える専門職である。因みにケース内容や地域により異なるが一般的に1件につき120-150米ドルの支払いを受ける。LCPは病院に所属するよりも個人で契約をするケースの方が多い。

フォレンジック看護師は（「法看護」とでも表現できるでしょう）簡単にいうと医学と司法・犯罪部門との間で仕事にあたり、この人が救急室で患者との最初のコンタクトとなる事が多い。この専門看護師は証拠物件の取り扱いや犯罪捜査プロセスに関する教育を受け、救急室勤務の他に法廷での専門家としての証人の立場で出廷するなどの役割がある。例をあげると救急室へ骨折などの怪我で女性が

来院した場合、「転んだ」という患者の言葉を額面通りに受け取らずに全身アセスメントを先ず行い、X-rayを撮り他に骨折治癒の跡がないかなどなどの分析をする。虐待などの可能性があるかと判断した場合は犯罪法関係部門と連携してフォローをする。

看護の最終目的は看護サービスの提供を受けるひとがサービスを受けて以前よりは楽になったと感じ、痛みが軽減し、心が晴れやかになったと感じ、時満ちて逝く人が質の良い死を迎えられるような看護を論拠（エビデンス）に基づいて提供する事であろう。

看護は革命の蓄積。Salute to nursing revolution!

「スーディ先生の欧州歴訪スケッチ」



アムステルダム大学は1632年に創立されましたが、現在の大学内のゲストハウスは、かつて創立以前は病院でした。療せた病人の影像のある門柱にその面影が今でも残ります（2009年訪問）。



マルタ共和国は地中海に浮かぶ小島です。高齢者施設の窓から見える世界遺産の街並みです（2007年訪問）

米国の看護職最前線

札幌市立大学看護学部

スーディ 神崎 和代

筆者紹介
在宅看護学領域・教授。なんと3ヶ国で看護師免許を取得しており、さらに医療の質の専門家の資格を持つ。専門は感染予防、危機管理、認知症など幅広い。米国・カナダでは健康施策にも関わり、まさにワールドワイドに活躍された経歴を持つ。本学着任後すぐに夕張市への地域・在宅ケア関係者への教育支援や研究に尽力される。

推薦書：「Nursing without Borders」J.M.Weinstein & A.M.T.Brooks著 Sigma Theta Tau Intl 社 2007年

撮影 スーディ 神崎 和代

著者紹介
空間デザインコース・助教。博士（社会学）
観光、農村計画、森林風致、地域社会学
受賞：日本ランドスケープフォーラム大賞2002



イラスト・メディアデザインコース3年 坂田 亜沙美

ドイツの森・日本の森～ 現代社会における環境デザイン

四手井綱英先生の訃報を知ったのは、この原稿に取りかかった、まさにその日だった。彼は、「里山」という言葉の生みの親であるだけでなく、日独の森林文化比較においてもパイオニア的存在の林学者であった。彼の著書を手がかりに、私は、ドイツの森の世界に足を踏み入れていったのだ。その時の私は、その本が私の道標としてだけでなく、実際には足かせとなることに気づいていなかったのだが。

一般的に、「ドイツ人は森を愛す民族だ」と考えられている。四手井らの研究グループは、ドイツ人と日本人へのアンケート結果を比較し、こう結論づける。「ドイツには森林文化が根強く残り、日本のそれは今や消滅の危機にある」と。この本が書かれたのは1980年代はじめ。世界的な環境問題への関心が、日本にも押し寄せる前夜であった。海外の技術的、政策的な先進事例ばかりに目をとられていた当時の日本において、この比較研究は、根本的な自然観の違いを問う意欲的な取り組みであった。

それから30年、日本にも「エコ」という言葉が日常に溢れるようになっていた。そして、ドイツ留学中の私は、かつ

て書かれたこの本の実際を自分の目で確かめようと、ドイツの森や農村を歩き回っていた。しかし、どう頑張っても、ドイツ人の自然観を形づくる環境的な要因を突き止めることはできなかった。それだけでなく、実際に森と生きる生活者の語りに耳を傾けるうちに、私の思い描いていたドイツ神話と、現実の人々の生活の間に、多くの隔たりがあることに気づき始めていた。ドイツにはもはや、伝統的な森林文化など残っていないのではないか、との疑問が湧いてきたのだ。

結局、本から作られた先入観を取り払うのに、私は3年以上の時間を要した。ようやく辿り着いた、ドイツと日本の違いとは、「世界の見方」の違いであった。「景観」として世界を見るドイツと、「風景」として見る日本の違いである。「景観」とは客観的な土地の様子そのものを指す語で、「風景」はそれを見る人間によって、様々な感情や価値が付加されたものである（ちなみに「景観」という語は、明治期にドイツ語の「Landschaft」が和訳され導入された新しい言葉である）。

本は私たちに多くの知識を提供してくれる。しかし、時代は移り変わり、社会

の関心も変化する。自分自身の問いを明確に持ち、自分の目と耳でものごとを異なる角度からも捉えていかなければ、本の知識はかえて足かせとなることもあるのだ。

最後に付け加えておくと、ドイツと日本の「世界の見方」の違いは、両国のデザインアプローチにも影響を与えていると考えられる。参加型のデザインプロセスが重視される、近年の環境デザインに関して言えば、「景観」そのものをデザインするドイツのアプローチと、「風景」をデザインしようとする日本のアプローチである。公共の概念が弱い日本では、どうしても感情面での合意形成が重視されることが多くなる。つまり、物理的な環境を操作する以前に、様々な人々の意識や価値観を理解し、調整することが求められる。そのような理由から、現在私は、あえて「風景デザイン」という言葉を意識的に使い、地域づくりやまちづくりのテーマに取り組んでいる。

筆者紹介
成人看護学領域・助教。博士（看護学）。看護師・産業保健師としてのキャリアを持つ。がん看護に着目した研究を継続して行っており、特に外来で通院しながら療養する患者を支援する看護実践に重点をおく。時に厳しいがいつも温かく見守る教育姿勢は学生に安心感をあたえてくれる。



多様化するがん治療～がん看護事情

イラスト・メディアデザインコース3年 沼尾 春香

一般に「がん」という病気は‘不治の病’として捉えられがちです。しかし、がん治療は日進月歩であり、さまざまな治療法の開発により、癌腫によっては完治したり長期生存が可能となっています。今回はこの多様化するがん治療とがん看護の一端について、胃がんを中心にをご紹介します。

がんの治療においては、手術療法、化学療法、放射線療法などを組み合わせた集学的治療が行われています。そして、近年では内視鏡的治療、腹腔鏡下手術、局所薬剤注入療法（TAE/PEITなど）、造血幹細胞移植、粒子線治療などの治療法も導入されるようになっています。例えば胃がんの場合、早期がんのfirst choice は内視鏡的治療（EMRやESD）となります。この治療法は1日入院もしくは外来での施行となりますので、看護においては術前処置や退院後の留意点についての患者指導が重要となります。また、進行胃がんの場合、これまでは開腹による胃切除術が一般的でしたが、最近では腹腔鏡下胃切除術も多くの施設で行われています。腹腔鏡下手術の場合、「傷が小さく術後の痛みが少ない」「全身状態の回復が早い」といった長所がありますが、「手術の難易度が高い」「医療コストが高い」と

いった短所もあります。そして、術中、腹腔内にCO₂を大量に注入するため、術後には無気肺や不整脈、皮下気腫などにも注意が必要です。

さらに、このような胃切除術を受けたあとに化学療法を併用することも多くなっています。例えば、stageⅡ期やⅢ期の進行胃がんでは根治手術後にTS-1[®] という抗がん剤を1年間内服することが標準治療となっています。また、根治手術が不可能であったり再発胃がんの場合には、がんの進行を抑えたり症状の緩和と目的で化学療法を実施することもあります。この場合、TS-1[®] とシスプラチンの併用やパクリタキセル、イリノテカンといった抗がん剤が使用され、一般状態が良い患者さんは外来で化学療法を受けることになります。つまり、がんを取り除いて治療が終わるのではなく、退院後も治療を継続する方が多くいらっしゃるのです。外来治療は仕事や趣味などそれまでの生活を続けられる、家族と一緒に過ごせるなどのメリットもありますが、同時に患者さんが主体となって治療の副作用に対応することが求められます。そのため、看護においては患者さんの生活状況、今後起こりうること（胃切除の影響、副作用など）、対処能力、家族のサポート力など統合的・長期的視点をもっ

てアセスメントし、セルフマネジメント力を高めるような支援が重要となります。

なお、がん治療は刻々と変化していますから、看護師も常に新しい知識を得ることが必要です。雑誌『がん看護』、専門書籍『がん看護 実践シリーズ』（メチカルフレンド社）などがわかりやすいかと思えます。

最後に、がん看護を専門とする私から一言。みなさんはこれから臨床現場でがんを抱える患者さんと少なからず関わることになると思います。時にはがん告知の場面、がん治療の大変な場面、終末の場面など厳しい状況に携わることもあるでしょう。その時、どんなに辛くてもその状況から逃げずに患者さん・ご家族と向き合ってください。看護の場を通し、患者さん・ご家族は生きるということ、死ぬということ、さまざまなことを私たちに投げかけてくれます。そして、「‘その人（患者さん）らしく’あるために看護として何ができるのか」といったことを心にとめ、がんとともに生きる患者さん・ご家族を支えていって下さい。がん看護の面白さ・醍醐味を知っていただけるのではないかと思います。

皆さんのご活躍を心から期待しています。頑張ってください。

アニマル・セラピー Now & then

札幌市立大学看護学部

河村 奈美子

著書紹介
精神看護学領域・助教。高齢者・認知症高齢者へのアニマル・セラピーを実践から、家族・施設職員への影響、人との動物との交流場面におけるコミュニケーションについて研究を続けている。その他、育児する母親への支援や精神保健の研究も進行中。国際学会での発表経験も豊富。



イラスト・メディアデザインコース4年 畑山 愛実

てきています。
実際のアニマル・セラピーの訪問は、ボランティアの心と行動力に大きく支えられて成り立っています。犬の世話やしつけ、健康管理は、もちろんある基準を満たしていることが要求されますし、動物の性格にも向き不向きがあります。基準に合格したボランティアの皆さんは、ペットをつれて場合によってはいぶん遠くからも活動のために通ってこられます。
医療者は、ボランティアに訪問を依頼し、可能になれば活動の内容を具体的に打ち合わせていきます。ボランティアを含め、その場はいろいろな人と動物が交流しあうたくさんの方のコミュニケーションが発生しています。しかし参加者の反応が微細であるために、ボランティアは、相手が喜んでいいのか、楽しんでいるのかに戸惑い、そもそも活動の意味を感じられなくなることもあります。日頃から参加者の最も身近でケアを提供している看護師は、参加者の反応の意味を理解できることも多く、活動のコーディネートに力を発揮できます。
先日私は、乗馬セラピーで、ある少年と出会いました。彼は、自分と馬は一本の綱で『つながっている』ことを感じて

いるようでした。彼は、乗っていると馬の調子がわかるそうです。また自分が意識していなくても、馬の聞き分けがわるいと自分のイライラや落ち込みに気づくことがあるそうです。つまり、人と動物のあいだには、原初的な交流があるようです。たぶん私自身は、動物とのふれあいの生理学的治療効果よりも、動物と『つながっている』と人が感じ、そこに言葉を必要としない動物とのコミュニケーションがあることやその関係性の意義について、関心を持っているのだと思っています。しかし、この問題は、まだまだ未知の部分が多くて悩むこともよくあります。そんなとき、いつも巡りに巡って行き着く本があります。池川清子著『看護：生きられる世界の実践知』で、これは私が大学1年生の時の教科書でした。当時はさっぱり内容がわかりませんでした。読み返すと重要なところにきちんと自分の線が引いてあったりして、その時の講義の映像がよみがえってきます。
卒業される皆さん、看護の道は始まったばかりで、乗り越えることもたくさん出てくるでしょう。でも看護の心は、本や講義、仲間と過ごした思い出と一緒に皆さんの心にしっかり刻まれているはず。壁にぶちあたったら、ヒントは本の中にあるかも知れません。

あなたと私、今を生きる コミュニケーションのヒント

札幌市立大学デザイン学部

町田 佳世子

著書紹介
共通教育・准教授。博士（教育学）
対人コミュニケーション、コミュニケーション能力、コミュニケーションストレス
講演：「コミュニケーションの基本」（第34回全国青年司法書士全国研修会）ほか



イラスト・メディアデザインコース3年 坂田 亜沙美

大ストレス時代と言われる今、読者の皆様も「癒し」を必要とする時が多々あるのではと思います。その時どのような方法で「癒し」を得ていますか。温泉、アロマ、散歩、ペット、友との話らい、趣味に没頭などいろいろな方法があると思います。癒されたときの気分はどのようなものでしょうか。リラックスした、落ち着いた、温かい、あるいはいきいきとした気持ちでしょうか。
心理学には感情（気分）を2つの軸でとらえるという考え方があります。心地よい気分か心地よくない気分かという軸と、活性した状態かそうではないかという軸の組み合わせで感情を分類するのです。つまり単にいい気分かいやな気分かだけでなく、いい気分にも2種類あって、落ち着いた気分といきいきした気分を分けて考えようという枠組みです。そして今、これら2種類のポジティブな感情（気分）の積極的な役割に注目する研究がどんどん進められています。
落ち着いた気分であってもいきいきした気分であっても、ポジティブな気分になることは、認知（理解、判断、ものの見方）や運動パフォーマンス、対人関係にもよい影響を及ぼすことがわかってきています。たとえばポジティブな気分を感じている場合は、状況の変化にすばや

く対応し、創造力が促進され、身体活動では握力がアップする実験結果が報告されています。ということは、癒されてポジティブな気分になれば、頭もよく働き筋力も高まると考えられます。「癒し」の効果が気持ちの面にとどまるのではなく、思考や行動にもよい影響を与えることが明らかになりつつある今、「癒し」の価値がよりはっきりとしてきたのではないかと思います。
では人と人とのコミュニケーションは「癒し」をもたらすことはできるのでしょうか。誰かと話している時、皆様はどんな時にほっとしたり、温かい気持ちになったり、元気になりますか。たとえば、相手が自分の話をじっくり聴いてくれたときはどうでしょうか。そもそも語ることが癒しをもたらすことは誰もが経験的に感じていると思います。でも1人で語ることはできません。聴いてくれる相手がいればじめて、語りができるのです。ですから、誰かに話をじっくり聴いてもらうことは、コミュニケーションならではの「癒し」といえるでしょう。
笑顔がむけられたときはどうでしょうか。思わずつられて笑顔でしまうことはありませんか。そしてそのことで温かい気持ちになったことはありませんか。人は他者の笑顔を見ると、自分が楽しい

気分でなくてもその笑顔を模倣し、笑顔をつくる筋肉が反応するために、楽しくて微笑んだときと同じ運動信号が脳に送られます。その信号を受けて、脳は「楽しんでいる」と感じるのだと言われています。つまり他者から向けられる笑顔は、まだ気持ちの中に生じていなかった温かい気持ちを私たちのの中に創りだしてくれるのです。相手に笑顔を送る、相手から笑顔を送られる、これもコミュニケーションが私たちに与えてくれる「癒し」の1つであると考えます。
図書館は静かで落ち着いていて、そこにいだけで「癒される」と感じる人は多いと思います。そのときに感じる気分は落ち着いてリラックスした気分でしょうか。もしくはわくわくする本を読んで興奮した状態でしょうか。それとも集中して本を読んだあとの心地よい倦怠感でしょうか。いずれにしても図書館を出るとき、以前と違った気持ちになっていることがあると思います。図書館がもたらす「癒し」が、ゆったり系の癒しかわくわく系の癒しか、そしてその後何かいいこと、例えば、いい考えが浮かんだり、迷っていたことに決断できる、などが起こるかを、実際に図書館に足を運んでぜひご自身で確かめてみてください。

現代建築デザイン事情のおかれている社会的事情

札幌市立大学デザイン学部 那須 聖

筆者紹介
空間デザインコース・講師。博士
(工学)、一級建築士
建築意匠論、形態論、構成論、設計
理論、近代建築
著書：『建築・都市計画のための空
間学事典』井上書院 2005ほか

最新建築デザイン事情というテーマを
いただいたのですが、実際につくられ使
われる建築を象徴するような例として、
昨年のアメリカで体験した3つの建築に
ついて書くことにしました。

2008年12月4日カリフォルニア州パサデナ



ギャンブル邸

午前10時、ロサンゼルス国際空港着、
レンタカーで一路北東のパサデナへ。グ
リーン兄弟によるギャンブル邸を訪れる
のは13年ぶりである。1908年に建設さ
れたこの住宅は、当時、ギャンブル家の
冬の住まいとして建てられた。現在、南
カリフォルニア大学所有のこの住宅は、
学生達の保存活動の教育・研修の場とし
ても活かされており、継続的なメンテナ
ンスがなされている。100年経った今日
も凛としたその姿を目にして、モダニズ
ム初期における彼らの立ち位置に思いを
馳せる。現代を代表する建築家フランク・
ゲーリーが、先の回顧展に寄せた文のな
かで、彼が学生時代にグリーン兄弟の建
築を知り、近代建築の試みが鉄やガラス
だけでなく、土着の材料でも成立するこ
とを学んだと述べている。そのゲーリー
は、いまや最も売れっ子の建築家である。
彼自身の建築は複雑な曲面表現が特徴的
だが、計画自体は実にオーソドックスで
機能的。近代主義の白い箱というフィル
ターを通してみると、グリーン兄弟も

撮影：那須 聖

ゲーリーも表現とその才能が際立つ。



ディズニーコンサートホール

12月6日カリフォルニア州ロサンゼルス

住宅調査の終了後、ロサンゼルスのだ
ウタウンに2003年に竣工したディズ
ニーコンサートホールを訪れる。写真で
見た時と印象が一転する。ダウタウン
の真ん中に咲く、シルバーメタリックの
花。金属同士をうまく接合するのではな
く、隙間を空けて構成している。花びら
の中段はペDESTリアンデッキとなっ
ており、外周を巡ることができる。コンサ
ートホールを内包しつつ、突拍子もない形
であるが、形の構成も、人々への空間の
提供においても都市に開かれている。



シアトル中央図書館

12月7日ワシントン州シアトル

昼過ぎにタコマ国際空港に着き、バス
にて市内へ。アメリカ西部とはいえ、ロ
サンゼルスとは全く異なる。レム・コー
ルハース率いるOMAによるシアトル中

央図書館は2004年に竣工。図書館、会
議室等の諸処の機能をブロックに分け、
それらをずらしながら垂直方向に積み上
げた構成。各ブロックの間は空いており、
その部分がパブリックな空間になっている。
坂の街ゆえの2層にまたがるエント
ランス、エスカレータでの上部への動線、
開架式の図書室内はスロープでぐるりと
つながっており、常に上下の空間を意識
させながら、最上部へ至るまでぐんぐん
人を運んでいく構成である。同時に周囲
の街の景色も取り込んでいることも見
事。よくぞこの建築にゴーサインを出し
たと感じた。

2009年12月某日

ロス、シアトルと三つの建築を通して
感じる重要な点は、建築が如何に活かさ
れているかと、建築家が社会のどこで仕
事をしているかである。グリーン兄弟の
建築は教育の現場として活き、ゲーリー
やコールハースは、大都市の真ん中に公
共的で質の高い仕事を思う存分やっている。

もう一つ、デザイン行為の側面で言
うと、ゲーリーもコールハースもさら
には日本人も含め活躍している建築家
の多くには設計のプロセスに特徴が
ある。それは、スタディの量とその発表
の仕方である。一つの建物あるいは
空間に対してものすごい数の模型やス
ケッチをつくっている。設計の考えを
確認するように少しずつ異なる模型を
つくり比較を繰り返す。そうした中で
言語化できる価値を発見したり、言語
化できない価値を建築に表現しようと
しているかのようだ。必ずしも効率的
ではないけれども、とにかくあらゆる
可能性を試すヒューリスティックなア
プローチ。それがメディアにも発表さ
れる。プロセスの時代とでも言おうか。

筆者紹介
製品デザインコース・講師。専門
はメカトロニクス、機械力学、制
御工学、トライボロジー。非対称
形状表面を用いたマイクロパーツ
フィーダ、北海道の地域性を生か
した動物ロボット玩具の開発につ
いての研究に従事。

Living Library in Sapporo

ー 新たなコミュニケーションの可能性 ー

札幌市立大学デザイン学部 三谷 篤史

「Living Library (生きている図書館)」と
は、障害者やホームレス、同性愛者など、
誤解や偏見を受けやすい人々を「Living
Books (生きている本、以降「本」)」とし
て貸し出すものです。「本」となった人は、
自身の経験や考えを語りながら「読者」の
質問に答えていきます。このような「本」
との直接的な会話を通し、従来陥りがち
な固定観念を変え、その多様性を認める
(Understanding Diversity) きっかけを
「読者」にもたらすことが目的です。



会場設営に動しむ「司書」たち



「本」達と「司書」達の語らい(休憩室にて

この「Living Library」の発祥はデンマ
ークであり、暴力追放をテーマにしたロッ
クフェスティバルの一企画として行われま
した。それ以来、コペンハーゲンに本部を置
くこの取り組みは、世界的な広がりを見せ
ています。日本では、一昨年の12月に京都
国際会館で行われたのを皮切りに、合計8
回開催されています。

札幌市立大学附属図書館では、秋の訪
れを感じさせる8月下旬、野外音楽イベン
ト『Magical Camp 2009 in 手稲ハイラン
ド』の一角で、札幌初の『Living Library in
Sapporo』を開催しました。このような本
家に近い開催形式は、日本では初の試みで
した。実施にあたっては、デザイン学部4

写真提供：近藤美佳



「読者」に「本」の紹介をする「司書」



「本」の話に聞き入る「読者」

年生の近藤美佳さんを筆頭に、16名の学
生が「司書」として名乗りを上げました。「
司書」たちは、自ら「本」候補者達との交渉
にあたり、『高次脳機能障害者』、『ゲイ
術家』、『ニューハーフ』、『メイクアップ
アーティスト』など、魅力ある10冊の「本」
を集めました。『高次脳機能障害者』を除
いて、全て道内の「本」です。「司書」た
ちは、「本」の選定のみならず、看板やフ
ライヤーなどの制作、「本」の目次編集、
会場設営に至るまで、見事なマネジメント
を成し遂げました。その結果、最終的な
「読者」は延べ88人、「立ち読み」など
「潜在的な読者」を含めると120人を数
え、成功裏に幕を閉じることができました。

さて、このような従来とは異なる「図
書館」のあり方において、最も重要なのは
何でしょうか?それは、「司書」が「本」と
信頼関係を築くことです。誰でも、自身
の経験を赤の他人に話すことは、決して
気持ちのいいものではありません。まし
てや「本」になった当事者にとってみれば
なおさらでしょう。「本」自身の語る内
容がコンテンツとなる「Living Library」
では、「司書」の手腕次第で「本」が「良
書」にも「凡書」にも成り得ます。そう
いう意味では、「Living

Library」は「コミュニケーションデザ
イン」の一つといって差し支えないでし
ょう。今回の成功も、「司書」が「本」た
ちの信頼を勝ち得たからこそであること
は言うまでもありません。

もちろん、「Living Library」には様々
な問題があります。『高次脳機能障害者』
は、東京で「優良図書」の評価を受けたた
め、特別招聘されました。今後さらに
評価が上がり、「本」ではなく「講演者」と
して招聘されるようになれば、「Living Li
brary」の趣旨から逸脱してしまいます。
また、「本」の語る内容は、あくまでその
「本」個人の主観に基づくものであり、決
してそのマイノリティを代表するものでは
ないことを念頭に置いておく必要があります。
そうしなければ、逆に誤解や偏見を助長
させることにもつながります。このような
「危うさ」を内包しながらも、「Living Li
brary」は大きな可能性を秘めていると
感じます。

機会があれば、デザイン学部の学生だ
けでなく、看護学部の学生達にも是非体
験して欲しいと思います。看護師と患者
という普段の枠組みから離れ、いち「読
者」として「本」の生の声に対峙するこ
とは、看護職を志す皆さんにとって「目
から鱗が落ちる」ような、得難い経験
になると確信しています。



野外の薄暗い電灯の下で



語らいと共に夜は更けていく

カウンターの内側から・外側から

DESIGN

卒業についてのコメント（図書館の想い出）

私とライブラリー



図書館カウンター
内側の4年生

デザイン学部メディアデザイン4年
関口 祥子

待ちに待った入学式、隣の席は炭谷さんでした。今ではすっかり友達です。当初、このライブラリーはデザイン・アート系の蔵書が豊富です、と説明されたことがありました。

初めてライブラリーに足を運んだ時、ピカピカの一年生だった私は素直にその言葉を信じ、心ときめかせました。4年間もこのライブラリーに来ることができるなんて!澄川図書館とは違うぞ!勉学の為に使い倒してやろう、と。本棚に収まりきらない大判の資料にわくわくし、最新の雑誌や観たかったDVDにため息をついたものです。

あの日から4年が経とうとしている今、ライブラリーを使い倒すどころか行く度に見慣れない本が増えている気がして、時間だけが過ぎていく日々です。欲張りな私は、借りて家に持って帰れば読むだろうと思い到底2週間で読み切れない量を借りたこともありました。案の定、それは無駄に終わりました。

4年間で一番印象的な無駄は、科学雑誌「Newton」のバックナンバーを全部借りたことです。その時は宇宙について興味があったのですが、結局全部は読めずじまい。しかもその日は、大量の本を入れるバッグがなくて、雑誌をそのまま抱えて苦労して帰った記憶があります。このような無駄を経て、私の本を選ぶ嗅覚が少しは鋭くなったのではないかと思います。なぜならライブラリーで私が選ぶ本は毎回ハズレがなく、魅力的なものばかりです。このまま自分のものにしてしまいたい!と思う本にも出会うことが出来ました。これってよく考えたら、このライブラリーの蔵書が私にとって大当たりってことです。このような素晴らしいライブラリーがあることに感謝し、使いやすい環境を整えてくださっている司書の方々にこの場を借りてお礼を言いたいと思います。

本当にお世話になりました。ありがとうございます。

芸術の森キャンパスライブラリー司書
神村 沙矢香

私が札幌市立大学附属図書館に着任したのは、ちょうど今4年生の皆さんが入学した年でした。カウンターの内側と外側という違いはありますが、同じくピカピカの1年生として毎日が緊張の連続だったと覚えています。

最初の頃は、質問されても初めて聞く建築家の名前や建物、芸術家や作品ばかりで、資料探しの前にまず調べるところから始まり大変でした。皆さんの学年が上がるにつれ質問もどんどん高度になり、自分が提供した資料で満足してもらえたのだろうか、まだそれ以上に良い資料を見過ごしていないのだろうかなど今でも悩みます。また、自分で選んで購入した本の貸出回数が低いと、落ち込む事もしばしばありました。どうしたらもっと利用してもらえのだろうかと考えたり、皆さんがどんな本を読みたいと思っているのだろうかなどを他のメンバーとよく話し合ったりしています。司書という仕事に就いて6年目になりますが、この仕事の難しさや奥深さを改めて実感した4年でした。

そういう思いを抱えて過ごしているので、関口さんの「魅力的な本と出会えた」という一言は、こちらこそ感謝と嬉しい気持ちでいっぱいになります。タイトル・著者など分かっている状態で、目当ての本を探し出すのはパソコンを使えば簡単です。しかし、6万冊近い資料の中から、感覚だけで自分にピッタリくる「これだ!」という本を探し出す事は、宝探しに近いと思います。学生生活の中で読む事ができなかった本も、この先まだどこかで再会できるといいですね。

素敵な本、そして素敵なお友達と出会えた4年間を大切に、これからも新たな場所でもっともっと素敵な出会いを増やして行って下さい。

いつも図書館を利用して下さり、ありがとうございました。

NURSING

卒業についてのコメント（図書館の想い出）

4年生の皆さんへ



4年生図書館

看護学部 4年
秋山 裕希

学生生活の間でこんなにも図書館を利用するとは思ってもしなかった。4年間が経ち、本棚がいっぱいになっているのを見ると、図書館も学生と一緒に成長して来たのだとつくづく思う。私たちが入学した当初は…もう思い出せない。学年が上がるにつれて図書館の使い方も変わってきた。分らないことばかりで、いつも司書さんに聞いて教えてもらっていたこともあって、4年前からいる司書さんには名前で読んでもらえることもある。実習やレポート提出前は学生が一気に本を借りに来て、みんな使いたい本が一緒のときは早い者勝ちであった。そういった本は今では冊数も増えている。医療・看護関係の本だけでなく、小説や文庫本もたくさんあり、ちょっと勉強に飽きてきたときには、恋愛小説を読んでやる気を出している。

今は学校に来れば図書館にいる時間が多く、以前よりも図書館にいる人は増えており、今では色々な学生が来て勉強や調べものをしている。4学年揃うと、色んな人が色んな目的で図書館を利用している。静かで集中できる場所であるが、活気が出てきたというか…。

分らないことがあれば、いつもこの図書館で借りた本を何度も読み返し、返しては借りるのを繰り返してきた。振り返ってみるとたくさんの本をこの図書室で借り、その本に触れてきた。本も私たちの成長を見届けてくれている気がする。学校にすることが好きな私は自分自身が一生懸命に見えるような気がして、その中でも図書室にいる時間が本当に好きである。けど本当に図書館にいてだけで一生懸命になることができた。これからもこの図書館を多くの人に使ってもらうことができ、みんなの力になっていって欲しいと思う。今までありがとう。

入学した当時の皆さんのこと、高校を卒業したばかりの子供っぽさの残るその表情は期待や不安や希望、そしてやる気いっぱいで、少しばかり固まっていたよ。ぎこちない様子で、遠慮勝ちに質問をしにきてくれましたね。今日は何をきかれるのだろう、上手く答えられるだろうか、と私たちもドキドキしていました。

看護学部とはとにかく忙しく、レポート、演習、実習と、調べものがあるたびに図書館にどっと押し寄せてくるのはあの頃も今も変わりません。中には必死の形相でお目当ての本を探し回っていたり。最初の頃は蔵書数も少なく、あちこちで争奪戦が起きているのを目にするとその不十分さを感じ、どうにかしなければと思っていました。

そんな忙しい中で小説も読んでいましたね。ミステリー、恋愛、古典、映画やドラマ化されたもの、いつ読む時間があるのだろうか?とと思っているのですが、本当にいつ読んでいたのかな?

今年の春に皆さんは本校初の卒業生となりここを巣立っていくのですが、図書館とはこれでお別れ、ではないはずですが、それぞれ目指す仕事に就かれることと思いますが、そこでの研究や調べものがあるでしょう。実際、看護学部の前身である札幌市立高等看護学院の卒業生も多く利用されています。特に大学に隣接する札幌市立病院に就職した方は仕事帰りに立寄っていかれます。卒業校というのは人生におけるひとつのバックグラウンドであり、またホームグラウンドでもありたい、と思います。そこへひとときのあいだ戻ってきてくれる、それは学生時代の思い出のひとつとして図書館があったのだ、と思える瞬間でもあるのです。

開学してから4年がたち、皆さんが成長されたと同時にこの図書館が成長したとすれば、それは皆さんのおかげです。ありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願いします。

館外貸出ランキング

NO.1

食堂かたつむり
小川糸著, 2008.

芸術の森・2F開架 913.6/Oga



ポプラ社

NO.2
ガリレオの苦悩
東野圭吾著.
-- 文藝春秋, 2008.
芸術の森・2F開架 913.6/Hig

NO.3
別冊図書館戦争 1
有川浩著; 徒花スクモイラスト.
-- アスキー・メディアワークス, 2008.
芸術の森・2F開架 913.6/Ari/1

NO.4
別冊図書館戦争 2
有川浩著; 徒花スクモイラスト.
-- アスキー・メディアワークス, 2008.
芸術の森・2F開架 913.6/Ari/2

NO.5
聖女の救済
東野圭吾著.
-- 文藝春秋, 2008.
芸術の森・2F開架 913.6/Hig

NO.6
ノルウェイの森 上
村上春樹著. -- 講談社, 1991.
-- (講談社文庫;; む-6-9, む-6-10).
芸術の森・1F文庫・新書 913.6/Mur

NO.7
図書館戦争
有川浩著; 徒花スクモイラスト.
-- アスキー・メディアワークス, 2006.
芸術の森・2F開架 913.6/Ari/1

NO.8
告白
湊かなえ著.
-- 双葉社, 2008.
芸術の森・2F開架 913.6/Min

NO.9
流星の絆
東野圭吾著.
-- 講談社, 2008.
芸術の森・2F開架 913.6/Hig

NO.10
やっぱり欲しい文房具
ステイショナリー評論家がえらん
だ普段使いの傑作たち
土橋正著.
-- 技術評論社, 2006.
芸術の森・2F開架 589.7/Tsu

総 評

人気の高い東野圭吾、「図書館戦争シリーズ」の有川浩を抑えての堂々第1位は、この作品がデビュー作の小川糸でした。10位の「やっぱり欲しい文房具～」はデザイン学部ならではのランクインです。ランク外にはなりませんが、「夜は短し歩けよ乙女」が僅差の11位と健闘しました。3年連続上位に入り、不動の人気を誇っています。(芸術の森キャンパス・ライブラリー司書 鈴木・佐藤)

附 属 図 書 館 貸 出 ・ 視 聴 ラ ン キ ン グ

貸出日:2008/10/01 ~ 2009/09/30

桑 園

館外貸出ランキング

NO.1

New疾患別看護過程の展開
学研, 1999.

桑園・開架 492.914||Yam



学習研究社

NO.2
The 疾患別病態関連マップ
学習研究社, 2001.
桑園・開架 492.914||Yam

NO.5
疾患と看護過程実践ガイド
長谷川雅美, 林優子監修.
-- 改訂版. -- 医学芸術新社, 2007.
-- (BN books).
桑園・開架 492.914||Shi

NO.8
図解すぐわかる検査値の読み方
兼高達貳, 栗原毅監修. -- 成美堂出版, 2006.
桑園・開架 492.1||Zuk

NO.3
ナースのための
くすりの事典
守安洋子著; 1993年版・2007年
版(第16版). -- へるす出版, 1993.
桑園・開架 499.1||Mor||2009

NO.6
呼吸器系疾患をもつ人への看護
奥宮暁子著. -- 中央法規出版, 1997.
-- (ナーシングレクチャー).
桑園・開架 492.926||Oku

NO.9
心疾患をもつ人への看護
藤野彰子著. -- 中央法規出版, 1997.
-- (ナーシングレクチャー).
桑園・開架 492.926||Fuj

NO.4
疾患別看護過程セミナー
中村あや [ほか] 編集担当. -- 統合改
訂版. -- 医学芸術社, 2006.
桑園・開架 492.914||Nak

NO.7
小児看護過程&関連図:
発達段階の特徴と疾患の理解から
看護過程の展開を学ぶ
山口求編集執筆; 酒井ひろこ [ほか] 執筆.
-- 日経出版, 1999.
桑園・開架 492.925||Yam

NO.10
看護診断にもとづく母性・
新生児看護ケアプラン
マリリン E. ドーンジェス, メアリー
F. ムーアハウス編著; 柴山森二郎監
訳. -- 医学書院, 1998.
桑園・開架 492.921||Doe

総 評

ランクインした資料全てが、看護に関するものでした。専門的内容もさることながら、看護全体に関する内容が上位に入りました。前回のトップ3と変わらず。(桑園キャンパス・ライブラリー司書 佐々木)

館内視聴ランキング

NO.1

JUNO /ジュノ <特別編>
directed by Jason Reitman ; written by
Diablo Cody, 2008. v.

芸術の森・1FAV 778/Jun



JUNO /ジュノ <特別編> ベスト・ヒット・マックス 第6弾
DVD発売中 ¥1,800 (税込¥1,890)
20世紀フォックス ホームエンターテイメント ジャパン

NO.2
レミーのおいしいレストラン
ブラッド・バード脚本・監督
ブラッド・ルイス製作
ヤン・ピンカヴァ, ジム・カボピアンコ,
ブラッド・バードストーリー原案, 2007.
芸術の森・1FAV 778.77/Rem

NO.5
Sweeney Todd : the demon
barber of Fleet Street
[directed by Tim Burton ; screenplay
by John Logan ; produced by
Richard D. Zanuck... et al.], 2007. v.
芸術の森・1FAV 778/Swe

NO.8
Coffee and cigarettes
directed and screenplay by Jim
Jarmusch, 2005. v.
芸術の森・1FAV 778/Cof

NO.3
花とアリス
= hana & alice
岩井俊二監督・脚本・音楽, 2004. v.
芸術の森・1FAV 778/Han

NO.6
ティム・バートンの
コープスブライド
ティム・バートン製作;
マイク・ジョンソン監督, 2006. v.
芸術の森・1FAV 778.77/Tim

NO.9
エターナル サンシャイン
ミシェル・ゴンドリー監督;
チャーリー・カウフマン脚本,
2005. v.
芸術の森・1FAV 778/ETE

NO.4
El laberinto del fauno
written, produced and
directed by Guillermo Del Toro,
2008. v.
芸術の森・1FAV 778/Lab

NO.7
Cinderella II :
dreams come true
ジョン・カフカ監督; メアリー・ゾーン製作;
トム・ロジャース [ほか] 脚本, 2002.
-- (Disney DVD)
芸術の森・1FAV 778.77/CIN

NO.10
Babel
directed by Alejandro González
Iñárritu, 2007. v.
芸術の森・1FAV 778/Bab

総 評

第1位に輝いた「JUNO」は、アカデミー賞・脚本賞を受賞したハートフルコメディです。女の子の成長を描いたストーリーが共感を得たのでしょうか。また、10位内にアニメ作品が3つランクインしました。他にも「Ghost in the shell」などの押井守監督作品も人気があります。3位の「花とアリス」は昨年の5位からランクアップ。毎年順位を上げています。(芸術の森キャンパス・ライブラリー司書 鈴木・佐藤)

桑 園

館内視聴ランキング

NO.1

在宅介護の基礎と実践
NHKエデュケーショナル制作;; セット, Vol.1.
-- NHKエデュケーショナル, 2007.
桑園・A V 369.261||Zai||1

No Photo

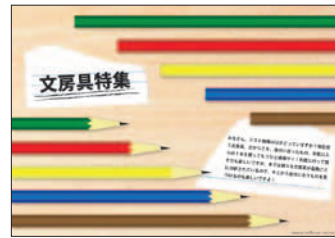
昨年度から図書館の広報活動の一部に4年生を中心とした「HON」のメンバーに関わっていただいています。主に図書館の掲示物やパンフレット、ここで紹介する特集ポスターや返却期限票を作成しています。どの作品もデザイン学部生ならではの感性とアイデアが盛り込まれています。

芸術の森キャンパス・ライブラリーでは、「今月の特集コーナー」を設けて本を展示しています。

図書館で企画した特集のテーマに合ったポスターをデザインし、来館者の目を楽しませてくれています。

11月の「ジャケ借り」特集は本の選書から展示、ポスター作成まで学生自身の企画でおこないました。

今回はその作品の一部をご紹介します。



特集コーナー 2月のテーマ
「文房具」
デザイン学部 コンテンツデザインコース 4年
佐々木孟さん



特集コーナー 7月のテーマ
「～夏～旅～」
デザイン学部 メディアデザインコース 4年
木村尚史さん



特集コーナー 8月のテーマ
「クリムト・シエラ」
デザイン学部 メディアデザインコース 4年
田村亮子さん



特集コーナー 11月のテーマ
「ジャケ借り」
デザイン学部 メディア デザインコース 4年
福田翼さん

図書館で本を借りると返却期限票が挟まれています。このデザインは「HON」が企画するコンペに学生が応募し、その中から「HON」の学生が審査して決めています。この企画は利用者から好評を得ています。

右記は「期限票デザインコンペ」で応募のあった中から選ばれた作品の一部です。



※コンペに関しては不定期での開催となりますので、図書館の掲示板でお知らせします。HONの活動に興味がありましたら、こちらまでお問い合わせください。
e-mail : library@budsmuseum.org
代表 : デザイン学部 メディアデザインコース4年 福田翼

新着文紹介



図書館ホームページのトップ画面に、新刊情報があることをご存知ですか？

桑園と芸森に新たに入った本を、それぞれの館の司書が紹介しているコーナーです。

本選びの参考にしてみても、いかがでしょうか。

イラスト・メディアデザインコース4年 畑山 愛実

今年度で購入した本の紹介文の一例

NEW

のぶカンタービレ! 全盲で生まれた息子・伸行がプロのピアニストになるまで

(辻井いつ子著. アスコム, 2008.)

桑園・開架 762.11|Tsu

今年、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人として初めて優勝し、一躍有名になった辻井伸行さんの成長記。母、いつ子さんや周りの人々に見守られる中、自分の才能を開花させていく伸行さんの姿は今後も楽しみです。

NEW

のうだま：やる気のコツ

(上大岡トメ, 池谷裕二著. 幻冬舎, 2008.)

桑園・開架 141.72|Kam

「スッキリ!」でお馴染みの上大岡トメさんの新刊です。最初はやる気満々でも三日坊主で終わってしまった経験は誰にでもあるかと思います。人間の脳は元々あきっぽくてきているけれど、脳の性質を理解した上で「あき」とも上手に付き合っていく、続けるコツを教えます。



桑園貸出ランキング☆文庫・新書編

1. パラレルワールド・ラブストーリー 桑園 文庫・新書コーナー 913.6|Hig 東野圭吾 [著]. 講談社, 1998. (講談社文庫).
2. パコと魔法の絵本 桑園 文庫・新書コーナー 913.6|Sek 関口尚. 幻冬舎, 2008. (幻冬舎文庫 ; せ-3-1).
3. おくりびと 桑園 文庫・新書コーナー 913.6|Mom 百瀬しのぶ著. 小学館, 2008. (小学館文庫).

リクエストをお寄せ下さい

教養を養うための本であれば勉強に関するものでなくてもリクエストできます。(桑園館に小説をリクエストする場合は、文庫をお願いします。)一定の購入基準があり、ご希望に沿えない場合があります。

編集後記 ▶ デザイン学部 上遠野 敏

経験や実践に基づかれた知見は時代の潮流を作ります。「歴史の無いところに未来はない」という言葉があります。どうやら根源のオリジンを検証するところに未来が宿っているようです。「BORO つぎ、はぎ、いかす。青森のぼろ布文化」という本があります。アウトサイダーアートやヘンリー・J・ダーガーの著書を著している小出由紀子さんと、編集者で写真の木村伊兵衛賞受賞者の都築響一さんの共著です。その美しいぼろは青森の田中忠三郎さんという個人コレクションでもあります。その昔、寒冷地の青森は綿花の栽培が出来ずに衣類は主に麻でした。その上、農民は綿の衣類を着ることも御法度の時代もありました。このぼろは「ドンジャ」という夜着で、厳しい寒さをしのぐために、ぼろにぼろを幾重にも重ね合わせ縫い込まれ重いもので15kgもあるそうです。厳しくも愛のある情景といったなまやさしい感傷もなく、一心に親子がくるまって寝た夜着です。貧しき者の産物ゆえに人様に見せることを良しとしない、恥ずかしきものとして永らく人目に触れることはなかったのです。物資に乏しかった青森は京都から船で運ばれた木綿の切れ端の糸さえ大事に使い補修したと聞きます。そんな愛情深いぼろを収集・保存した田中忠三郎さんがいたからこそ見ることができます。小出さんと都築さんは現代美術もぼろもアウトサイダーアートも先入観なしで同じ地平で見て感じています。眼差しこそ「時代の潮流を読む」ことにかなのではないでしょうか。

札幌市立大学 附属図書館

SAPPORO CITY UNIVERSITY



<http://www.lib.scu.ac.jp/>

札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第3号

編集 札幌市立大学図書館運営会議
編集長 上遠野 敏
編集 神島 滋子
棟方 渚

発行日 2010年1月18日

発行 札幌市立大学附属図書館
〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目
事務局 経営企画課 情報図書担当
TEL.011-592-2346

制作・印刷 株式会社 プリプレス・センター

ご感想をお聞かせください。
library@scu.ac.jp

「Dutch Institute for Sound and Vision」

オランダ国営放送が運用する国家規模のアーカイブ施設。単なる記録やコレクションではなく、近隣のテレビ局が新たな番組制作の為に活用している他、研究活動やジャーナリズムのためにアーカイブを利用する事が出来る。また、館内にはカフェ、ショップ、シアターやワークショップ施設などが内包され、アーカイブを核にクリエイティブを促進する運用がなされている。

撮影 須之内元洋 2009年

